

平成28年度 全国学力・学習状況調査の結果について

岩国市教育委員会

1 調査の概要

(1) 目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査期日 平成28年4月19日(火)

(3) 平成28年4月19日(火)に調査を実施した学校数・児童生徒数

学年	学校数	児童生徒数
小学校第6学年	岩国市立小学校 31校	1,112人
中学校第3学年	岩国市立中学校 15校	1,204人

(4) 調査の内容

① 教科に関する調査(国語、算数・数学)

問題A…主として「知識」に関する問題

問題B…主として「活用」に関する問題

② 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

ア 児童生徒に対する調査(児童生徒質問紙)

【小学校…85項目 中学校…85項目】

イ 学校に対する調査(学校質問紙)

【小学校…116項目 中学校…114項目】

2 結果概要

(1) 教科に関する結果

① 平均正答率

○ 小学校

	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B
岩国市	75.2	57.2	78.8	46.3
全国	72.9	57.8	77.6	47.2
山口県	74.6	58.7	78.4	48.1

○ 中学校

	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B
岩国市	77.1	67.6	63.0	44.4
全国	75.6	66.5	62.2	44.1
山口県	76.9	68.2	63.6	45.0

② 全体の結果

○ 全国平均との比較（平均正答率）

小学校では、国語 A・算数 A で全国平均を上回っている。

中学校では、すべてで全国平均を上回っている。

○ 県平均との比較（平均正答率）

小学校では、国語 A・算数 A で県平均を上回っている。

中学校では、国語 A で県平均を上回っている。

③ 教科ごとの結果

【小学校国語】

- ・問題 A：全国平均及び県平均を上回っている。
- ・問題 B：全国平均及び県平均を下回っている。

【小学校算数】

- ・問題 A：全国平均及び県平均を上回っている。
- ・問題 B：全国平均及び県平均を下回っている。

【中学校国語】

- ・問題A：全国平均及び県平均を上回っている。
- ・問題B：全国平均を上回っているが、県平均を下回っている。

【中学校数学】

- ・問題A：全国平均を上回っているが、県平均を下回っている。
- ・問題B：全国平均を上回っているが、県平均を下回っている。

(2) 生活習慣や学習環境に関する結果

① 児童生徒に対する調査

【望ましい状況】

- 《**子どもの意識**》ものごとを最後までやり遂げてうれしいと感じる子ども、自分にはよいところがあると思う子ども、将来の夢や目標を持っていると答えた子どもの割合が全国と比べて高い。
- 《**家庭での学習と復習**》家で、学校の宿題をしている子ども、家で学校の授業の復習をしている子どもの割合が全国と比べて高い。
- 《**学習・授業**》国語、算数・数学ともそれぞれの勉強は大切だと思っている子ども、学習内容がよく分かると答えた子ども、また学習したことは将来、社会に出たときに役に立つと思っている子どもの割合が全国と比べて高い。

【課題とみられる状況】

- 《**家庭での予習**》家で宿題・復習をしている子どもの割合は高いが、授業の予習をよくしていると答えた子どもの割合は全国に比べて低い。
- 《**社会に対する興味・関心**》テレビやインターネットのニュース番組をよく見ると答えた子どもの割合は全国に比べて低い。

② 学校に対する調査

【望ましい状況】

- 《**授業**》様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしたと答えた学校、児童生徒に対して、発言や活動の時間を確保して授業を進めたと答えた学校の割合は全国に比べて高い。
- 《**地域人材の活用**》地域の人材を外部講師として招聘した授業を行ったと答えた学校、保護者や地域の人々の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果があったと答えた学校の割合は全国と比べて高い。
- 《**研修体制**》学校体制の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり検討したり、学力傾向や課題について全教職員の間で共有している割合、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っている割合が全国に比べて高い。

【課題とみられる状況】

- 《小中連携》近隣等の小中学校と教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行ったと答えた学校の割合が低い。

(3) 今後の対応

○年2回の改善検証サイクルの確立と授業改善

- ・学力状況の把握と分析に基づき、指導の工夫改善を図る検証改善サイクルの確実な定着を引き続き図る。また、「岩国市授業スタンダード（整頓された教室・目標の提示—表現活動—振り返りのある授業）を全授業において徹底し、日々授業改善することで、児童生徒の学力向上に努める。

○学習習慣の確立

- ・学校運営協議会などを活用し、家庭での学習習慣の確立に向けて、家庭・地域と情報を共有するなど取組を充実する。

○小中連携

- ・それぞれの中学校区の特徴を生かした「小中連携カリキュラム」の作成を推進し、小学校から中学校への円滑な接続を図る。

3 参考データ等

(1) 教科ごとの結果

① 小学校国語

国語 A については、県平均・全国平均を上回っており、知識・技能の定着に一定の成果が見られる。国語 B については、県平均・全国平均ともに下回っており、知識・技能の活用に課題が見られる。

【相当数の児童ができている点】

- (A) 第5学年までの学習した漢字を読むこと
- (A) 目的に応じて、図と表とを関係付けて読むこと

【課題のある点】

- (A) 平仮名で表記されたものをローマ字で書くこと
- (B) グラフを基に、分かったことを的確に書くこと

② 小学校算数

算数 A については、県平均・全国平均を上回っており、知識・技能の定着に一定の成果が見られる。算数 B については全国平均・県平均を下回っており、知識・技能の活用に課題が見られる。

【相当数の児童ができている点】

- (A) 整数や分数の四則計算をすること
- (B) 示された条件を基にほかの正方形について検討し、同じ決まりが成り立つかを調べること

【課題のある点】

- (B) 示された式の中の数値の意味を解釈し、それを記述すること
- (B) 示された除法の式を並べてできた形と関連付け、角の大きさを基に、式の意味の説明を記述すること

① 中学校国語

国語 A については、県平均・全国平均をともに上回っており、知識・技能の定着に一定の成果が見られる。国語 B については、全国平均は上回っているものの、県平均は下回っており、知識・技能の活用する力にやや課題が見られる。

【相当数の生徒ができています点】

- (A) 登場人物の言動の意味を考え、内容を理解すること
- (A) 相手や場に応じた言葉遣いなどに気を付けて話すこと

【課題のある点】

- (B) 課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考えること
- (B) 本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書くこと

② 中学校数学

数学 A については、全国平均は上回っているものの、県平均は下回っており、知識・技能の定着にやや課題が見られる。数学 B についても、全国平均は上回っているものの、県平均は下回っており、知識・技能の活用にやや課題が見られる。

【相当数の生徒ができています点】

- (A) 正の数と負の数の加法の計算をすること
- (A) 2つの等号で結ばれている方程式が表す関係を読み取り、2つの二元一次方程式で表すこと

【課題のある点】

- (B) 加えるべき条件を判断し、それが適している理由を説明すること
- (B) 与えられた式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明すること